

コープふくしま おいしく減塩



の取り組み

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部 池町江美子

◆みやぎ生協・コープふくしまについて



- 1932年 生活協同組合福島消費組合として誕生。当時の組合員数は56人。
- 1995年 生活協同組合福島消費組合と郡山市民生活協同組合が合併～名称生活協同組合「コープふくしま」
- 2019年 3月21日 みやぎ生協、コープふくしま、福島県南生協が組織合同。～名称 みやぎ生協・コープふくしま

■組合員数 96.3万人(うち コープふくしま 20.1 万人)※2026年3月現在

■事業 店舗事業 61店舗(うち コープふくしま 12 店舗)、

宅配事業 17センター (うち、コープふくしま6センター) など

<みやぎ生協・コープふくしまのめざすもの>

わたしたちは協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、

平和で持続可能な社会を実現します

生活協同組合（生協）とは？

協同組合は、組合員の共通の願いやニーズを満たすための
組合員の助け合い（相互扶助）の組織です。



減塩アクションプロジェクト実施の背景

【コ－プふくしまのミッション】

消費者のくらしの目線に立って、地域や様々な団体と連携して

「誰もが安心してくらせる社会の実現をめざす」

1. COOP（コ－プ）商品の特徴を最大限生かして
2. 地域（行政）・多様な団体（協同組合、メーカー様など）と連携して

< **毎月17日は、「減塩の日」** を意識づける取り組み >

取り組み① 毎月17日は「減塩の日」の取り組み

- ① 売り場全体の表示ツールを作成し、PR
- ② 食塩不使用ミックスナッツを中心に、お試しできる商品を提供



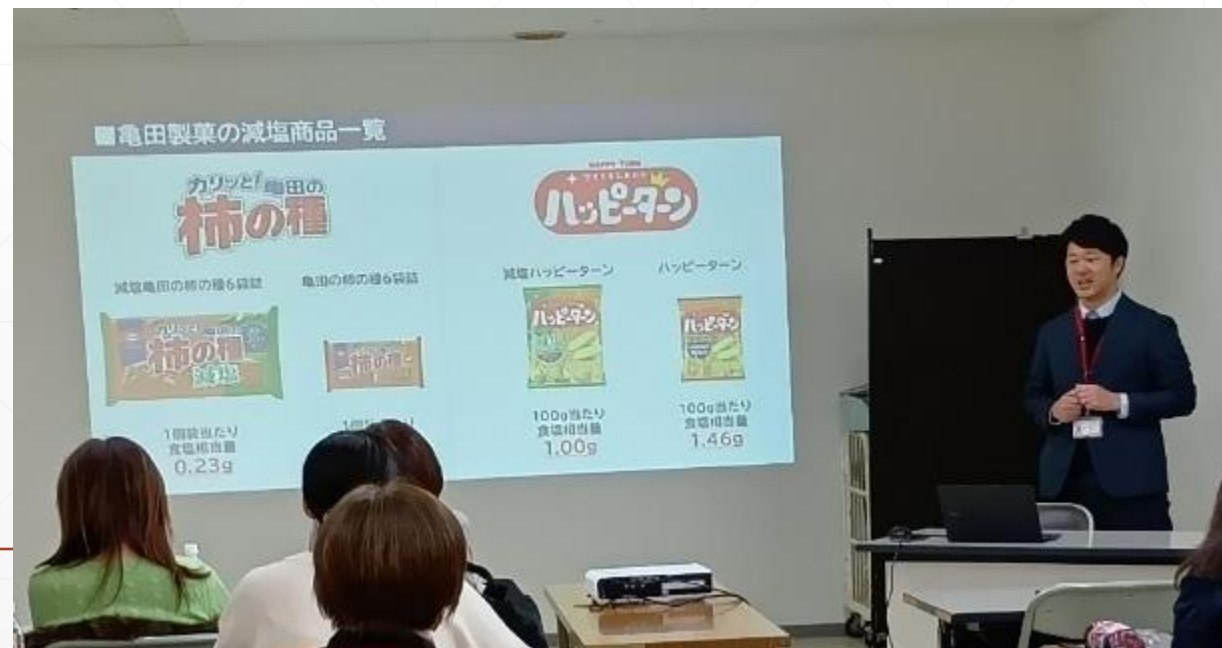
取り組み② 減塩商品コーナーへの「おいしく減塩」のPOP表示

売り場で埋もれがちな「減塩商品」を分かるように表示
＜福島市・伊達市のアイディアを拝借しました＞



のべ250人を超える参加者がイベントを体験

(味の素様、亀田製菓様、キッコーマン様) の学習会



取り組み③ 「減塩の日」イベントでPR、1月17日方木田店で実施

*きらり健康生協によるワークショップの開催

減塩みそ汁の試飲、1年間の塩分摂取量チェック、
1日350gの野菜の重さあて などなど



取り組み③ 「減塩の日」イベントでPR、1月17日方木田店で実施

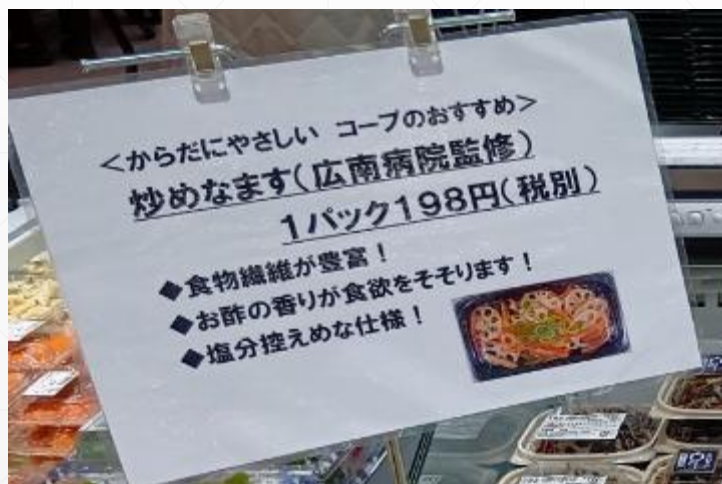
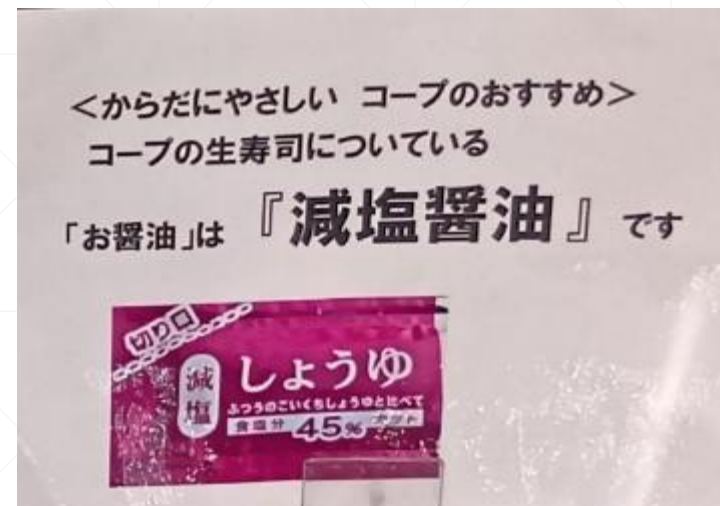
＊ メーカー様、福島県、福島市によるPR活動

来店された組合員との対話や交流があちこちで行われました



取り組み③ 「減塩の日」イベントでPR、1月17日方木田店で実施

＊からだにやさしい「お弁当」「惣菜」の販売・おすすめ



取り組み③ 「減塩の日」イベントでPR、1月17日方木田店で実施

* ふりかえり

- 1) 店舗全体が「減塩の日」で統一された訴求ができ、いろんな角度から「ムリなく」「たのしく」参加型で「減塩」の大切さを学ぶことができた。
 - 2) 福島県が実施したアンケートでも、回答者の7割以上が、「適しお」や「ベジファースト」の意識が深まったとの回答だった。
 - 3) メーカー様・行政・協同組合間協同の連携で、単にモノを販売するということではなく、社会全体でどんな商品を選ぶのか、どんな取り組みをしていくのかという意識を変えていこうという取り組みになった。
-

2026年度の取り組み

- ①毎月17日は「減塩の日」の取り組みを継続します。
 - ②減塩商品を売り場で目立出せるPOP表示を継続します。
 - ③「おいしく減塩＋ベジ推進」のイベントに取り組みます。
 - 1) 10月17日（土）方木田店で実施
 - 2) 12月17日（木）やのめ店で実施
- ※事業と組合員活動の連携、メーカー様・行政・医療生協との連携を深化させます。
- 3) セールチラシとも連動させ、全店での取り組みにします。
 - 4) イベントに向けて、お弁当の新商品の開発をすすめます。



笑顔で誰もが安心してくらせる地域づくりをめざして

コープふくしまは、これからも「健康」を切り口に、豊かな食生活と美味しさを追求していきます。



ご清聴ありがとうございました